

R3.嗜好調査報告書

甲府城南ケアセンター管理栄養士 織田芙美恵

【調査目的】

- ・1人1人の入居者様がもつ食事への思いを確認し、食事の満足度や喫食率の向上を図る
- ・ミールラウンドにて、「かたいから食べられない」というワードを入居者や職員からよく聞く為
今回「硬さ」に着目した調査を行い入居者の所感を確認する

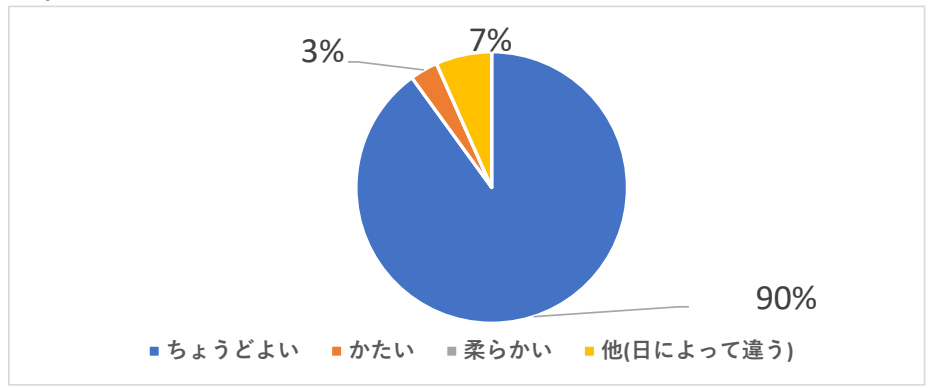
【調査方法】

- ・対象 : 特養・ショートステイ入居者様の内、聞き取り可能な方 (計30名/38名中 (回答率: 79%))
- ・調査手法: 管理栄養士が対象者へ行う聞き取り調査
- ・調査日 : 令和3年11月15日～令和3年11月19日(計5日間)

【調査結果】

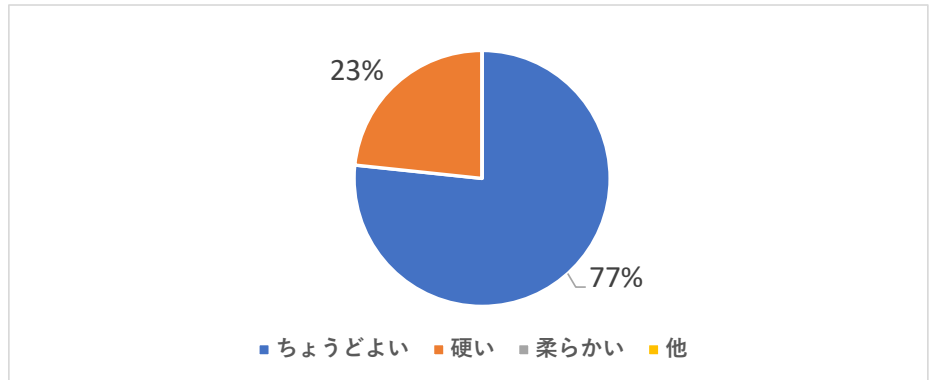
設問1: 主食(米飯又は粥)の硬さはどうですか?

ちょうどよい	27名
かたい	1名
柔らかい	0名
他(日によって違う)	2名



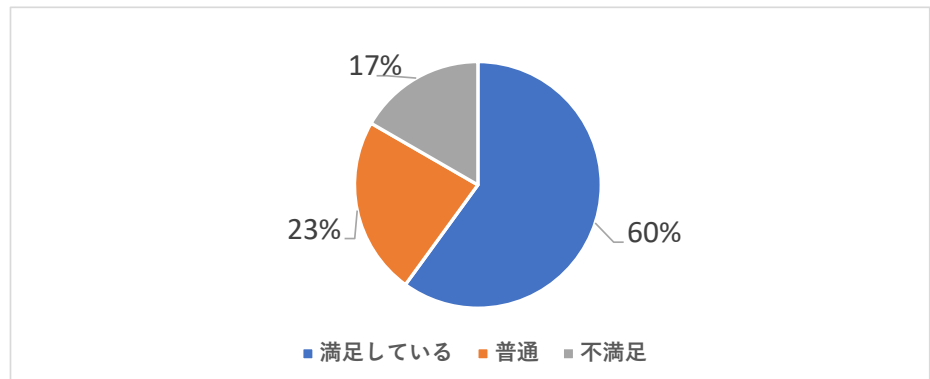
設問2: おかずの硬さはどうですか?

ちょうどよい	23名
硬い	7名
柔らかい	0名
他	0名



設問3: 食事には満足していますか?

満足している	18名
普通	7名
不満足	5名



設問4：好きな食べ物や食べたい物は何ですか？

・刺身	┌	まぐろ	3名	・海苔弁当	1名
		赤身	1名	・ケーキ	1名
		中とろ	1名	・白いご飯	1名
		サーモン	1名	・かっぱえびせん	1名
・生もの			1名	・納豆	1名
・野菜			2名	・あんぱん	1名
・牛肉			2名	・アイスクリーム	1名
・天ぷら			1名	・南瓜の煮物	1名
・揚げ物			1名	・すき焼き	1名
・果物	┌	果物	1名	・きのこ類(舞茸・椎茸)	1名
		生果物	1名	・蜆の味噌汁	1名
・めん類	┌	めん類	1名	・蜂の子	1名
		ラーメン	1名	・カレー	┌
		うどん	1名	カレー	
		そば	1名	具の大きいカレー	1名
・炒飯			1名		

設問5：食事に対する意見・要望はありますか？

「嗜好調査データ」参照

【まとめ】

①設問1, 2(主食とおかずの固さに関する項目)からの考察

- ・食事のかたさに対して「かたい」と言われる方が5人に1人以上いるということが分かりました。「かたい」といわれる入居者様の中には義歯が合わないことなどから義歯をせずにお食事をされる方もいらっしゃいます。「やわらかい」の回答が0名であったため、おかずを柔らかく調整するように検討する事が、現在の当施設の入居者様の食事向けとしてふさわしいと感じました。
- ・主食は、基本的に各ユニットで炊飯する為、職員の炊き加減によって硬さが変わってくることもあります。ただし、主食の硬さは9割の方がちょうどいいと言われている為大きな変更はせず、「かたい」とご回答された方にはお粥やご飯へのご希望を個別にこまめに確認し炊飯後のものから調整していきたいと考えています。
- ・おかずに関しては、きんぴらやれんこん等の他、里芋など一般的に柔らかいと思われる食材に対しても固いというお声を普段の食事風景からも確認することもあります。火加減や材料自体の選定で厨房の職員と調整させていただきます。

②設問3, 4(食事への満足度や食べたい食べ物に関する項目)からの考察

- ・食事に対して「不満足」の回答が見られる割合が、以前の嗜好調査の33%より少ない17%となり、前回調査時からの改善がみられました。
- ・「不満足」と回答した5名様の内3名が前項目で「かたい」と回答していました。その為、かたさの改善をすることが満足度のある食事提供に向けた優先課題であるのではと感じました。
- ・好きな食べ物を確認できたため、今後は今年度実施実績のある「投票メニュー」や「おたのみメニュー」実施時に優先的にメニューに盛り込めるように随時厨房職員と相談していきます。また、早速今年12月に海鮮丼やケーキを提供予定です。

③設問5(意見・要望に関する項目)より

その他の意見からは、かたさの他に多数の意見を得られました。問題点を以下に抜粋します。

- ・みそ汁のだしが少ない件：今年度春にみそ汁のだしの量の検討をすでに実施し厨房職員にだしの量を増量してもらっています。職員・入居者より好評いただいている事や、提供塩分の調整上の問題もある為だしの量はしばらくこのまま変更せずに対応したいと現段階では思っています。

～おわりに～

給食委託会社側に今回の結果を開示させていただきました。

米の品質の再検討・代替食品の品数・白身魚がパサパサしている件等を問いかけて調整方法をを早速検討中です。

歯の様子や介護度等ご本人の個々のご様子を理由に、満足度を低く評価されている様子も調査中に見受けられました。これに関しては、栄養ケアマネジメントでのフォローを継続的に行っていきます。また、現在コロナ禍で、相変わらず人とのかわわりを制限されています。そんな時だからこそ施設内みんなで食事を楽しめる提案を絶えず行えるように、感染対策を徹底した上で今後も取り組んでまいります。